㈡　架設工法が、片持ち張出し架設工法であること。（ただし、側径間端部の施工にあたってはこの限りでない）

㈢　当該施工経験が適切なものであること。

適切なものとは、過失による粗雑工事に起因した指名停止、契約違反に起因した指名停止を受けていないなど、不正又は不誠実な行為がなされたものではないこと。

ただし、上記㈠から㈢は同一の橋梁で施工を経験した者であること。

③　監理技術者にあっては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。

④　特定ＪＶ及び経常ＪＶにあっては、全ての構成員が、主任技術者又は監理技術者を当該工事に専任で配置できることとし、うち１人（特定ＪＶにあっては代表者）が上記①②の要件を満たしていること。

⑹　競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格確認資料（以下「確認資料」という。）の提出期限の日から開札の時までの期間に、局長から工事請負契約に係る指名停止等の措置要領（昭和59年３月29日付け建設省厚第91号）に基づく指名停止を受けていないこと。

⑺　上記１に示した工事に係る設計業務等の受託者又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。

⑻　入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと。（資本関係又は人的関係がある者の全てが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）（詳細は入札説明書参照。）。

⑼　経常ＪＶにあっては、全ての構成員が、⑴及び⑹の要件を満たしていること。

⑽　入札参加者の代表者又は代理権限のある名義人のＩＣカードにより、電子入札システムから当該工事の入札説明書及び見積りに必要な図書等をダウンロードしない者又は発注者の指定する方法（ＣＤ－Ｒ等による貸与等）での交付を受けない者は入札に参加することができない。

⑾　警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずる者として、国土交通省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

⑿　当該工事の技術提案が適切で具体的に示されていること。

３　総合評価に関する事項

⑴　評価項目　本工事の総合評価は、次の②の技術提案を受け付け、①及び②と価格を総合的に評価して落札者を決定するものとする。

①　施工体制（品質確保の実効性、施工体制確保の確実性）

②　技術提案

指定テーマⅠ：プレストレストコンクリートの品質・耐久性確保対策

指定テーマⅡ：周辺環境への配慮

⑵　技術提案における最低限の要求要件（以下「要求要件」という。）として、次のⓐから⒝までの要件を満たしていること。

ⓐ　プレストレストコンクリートの品質・耐久性確保対策について、設計図書における東北地方整備局制定共通仕様書（土木工事施工管理基準）を満たしており、その施工計画が具体的に示されていること。

⒝　周辺環境への配慮について、設計図書における東北地方整備局制定共通仕様書（土木工事施工管理基準）を満たしており、その施工計画が具体的に示されていること。

⑶　落札者の決定方法

①　入札参加者は、価格及び技術提案をもって入札をし、次の各要件に該当する者のうち、下記⑷「総合評価の方法」によって得られた数値（以下「評価値」という。）の最も高い者を落札者とする。

㈠　入札価格が予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内であること。

なお、予定価格は、設計図面及び設計図書に基づき算出し、総合評価管理費は含まない。

㈡　評価値が、標準点（100点）を予定価格で除した数値を下回らないこと。

②　上記①において、評価値の最も高い者が２人以上あるときは、該当者にくじを引かせて落札者を決める。

⑷　総合評価の方法

①　標準点　当該工事について、入札説明書に記載された要求要件を実現できると認められる者に標準点100点を与える。

②　施工体制評価点及び加算点　資料の内容に応じ、下記㈠の評価を行い施工体制評価点を与え、また下記㈡の評価項目毎に評価を行い、加算点を与える。

施工体制評価点の最高点数は30点、加算点の最高点数は40点とする。

なお、㈡技術提案の評価は入札説明書等に示された内容（以下「標準案」という。）について、それと異なる施工方法等（以下「ＶＥ提案」という。）を評価し標準案は評価しない。

㈠　施工体制（品質確保の実効性、施工体制確保の確実性）

㈡　技術提案

指定テーマⅠ：プレストレストコンクリートの品質・耐久性確保対策

指定テーマⅡ：周辺環境への配慮

③　入札価格及び技術提案に係る総合評価は、入札者の申込みに係る上記①及び②により得られた標準点と施工体制評価点及び加算点の合計を当該入札者の入札価格で除して得た評価値をもって行う。

⑸　上記⑷②の評価項目の詳細は入札説明書による。

４　入札手続等

⑴　担当部局　〒980―8602 宮城県仙台市青葉区二日町９番15号　国土交通省東北地方整備局総務部契約課契約第二係　菅原　之訓　電話022―225―2171㈹　内線2531

⑵　入札説明書の交付期間及び方法　入札説明書を電子入札システムにより交付する。（電子入札システムの調達案件一覧中、本案件の「登録文書一覧」欄から、ダウンロードすること。）

交付期間は、平成23年10月26日から平成24年２月９日までの土曜日、日曜日、休日及び年末年始（12／29～１／３）を除く毎日、午前９時から午後５時まで（最終日は入札書締切時刻である午後４時。）。

なお、本工事におけるＰＣ片持箱桁橋工、橋梁現場塗装工、橋梁付属物工、ＲＣ橋脚工の歩掛（別紙―１）については、入札説明書に記載する日時に配布する。

ただし、やむを得ない事由により、上記交付方法により入手できない入札参加者に対しては、発注者の指定する方法（ＣＤ－Ｒ等による貸与等）で交付するので、上記⑴の担当部局へその旨申し出ること。

なお、他社が取得した入札説明書等を譲り受け、申請書及び確認資料を提出した者が認められた場合には、東北地方整備局競争契約入札心得第５条に基づき、入札の取り止め等を措置することがある。

①　担当部局　上記⑴に同じ。

②　受付期間は、平成23年10月26日から平成24年２月９日までの土曜日、日曜日、休日及び年末年始（12／29～１／３）を除く毎日、午前９時30分から午後５時まで（ただし、最終日は入札書締切時刻である午後４時。）。

⑶　申請書及び確認資料の提出期間、場所及び方法　上記⑵により、電子入札システムからダウンロードした又は発注者の指定する方法（ＣＤ－Ｒ等による貸与等）での交付を受けた当該工事の入札説明書及び見積りに必要な図書等に基づき申請書及び確認資料を作成すること。

申請書及び確認資料は、平成23年10月26日から平成23年11月25日までの土曜日、日曜日及び休日を除く毎日、午前９時（ただし、10月26日は午前９時30分。）から午後５時（ただし、11月25日は午後４時。）までに、電子入札システムにより提出すること。ただし、発注者の承諾を得た場合は、平成23年10月26日から平成23年11月25日までの土曜日、日曜日及び休日を除く毎日、午前９時30分から午後５時（ただし、11月25日は午後４時。）までに、上記⑴に持参、郵送（書留郵便に限る。提出期間内必着。）又は託送（書留郵便と同等のものに限る。提出期間内必着。）により提出することもできる。

⑷　入札及び開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法　入札の締め切りは、平成24年２月９日午後４時。入札書は電子入札システムにより提出すること。ただし、発注者の承諾を得た場合は、東北地方整備局総務部契約課契約第二係に持参、郵送（書留郵便に限る。提出期間内必着。）又は託送（書留郵便と同等のものに限る。提出期間内必着。）により提出することもできる。

開札は、平成24年２月13日午前10時、東北地方整備局入札室にて行う。